

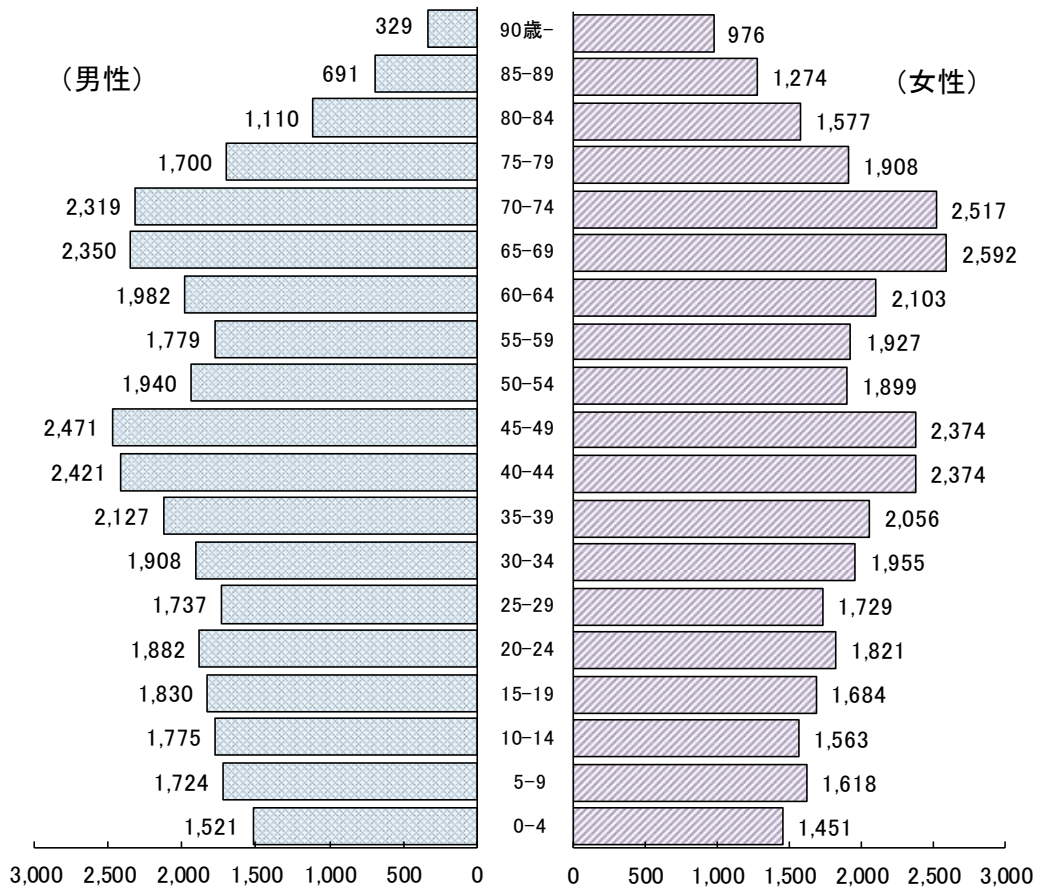
第2章 統計からみる総社市の現状

1. 人口等の動向

(1) 総人口

本市の平成31年4月1日現在の総人口は男性33,596人、女性35,398人の計68,994人です。40歳～49歳と65歳～74歳が多くなっていますが、25歳以下は他の年齢階層と比べて少なくなっています。

図表1 人口ピラミッド



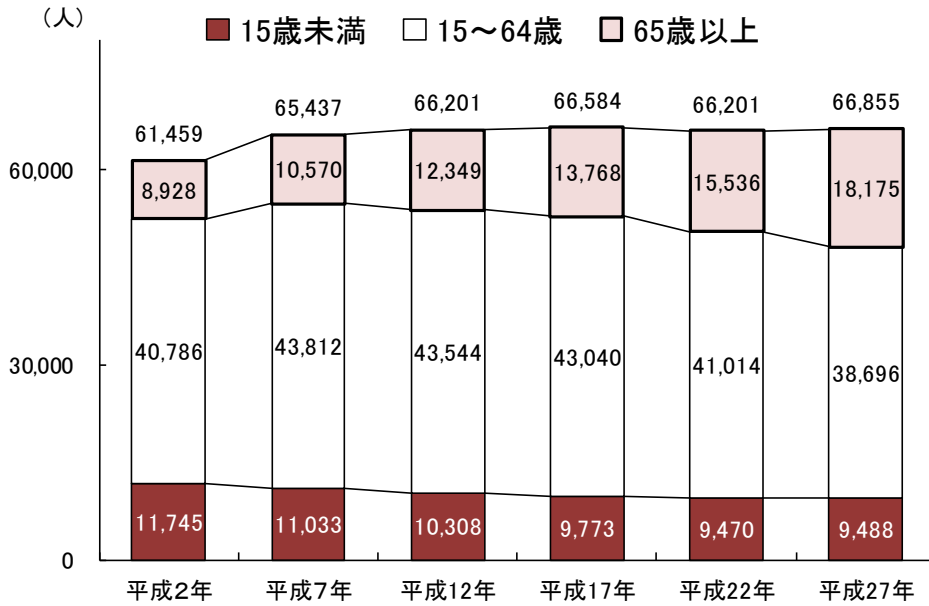
平成31年4月1日現在

資料：住民基本台帳

(2) 年齢3区分人口及び割合の推移

人口の推移をみると、平成22年の国勢調査では人口減少に転じていますが、概ね増加傾向にあります。15歳未満の人口は平成2年以降なだらかに減少していましたが平成22年から横ばい傾向にあります。65歳以上の人口は大きく増加しており、高齢化が進んでいることがうかがえます。

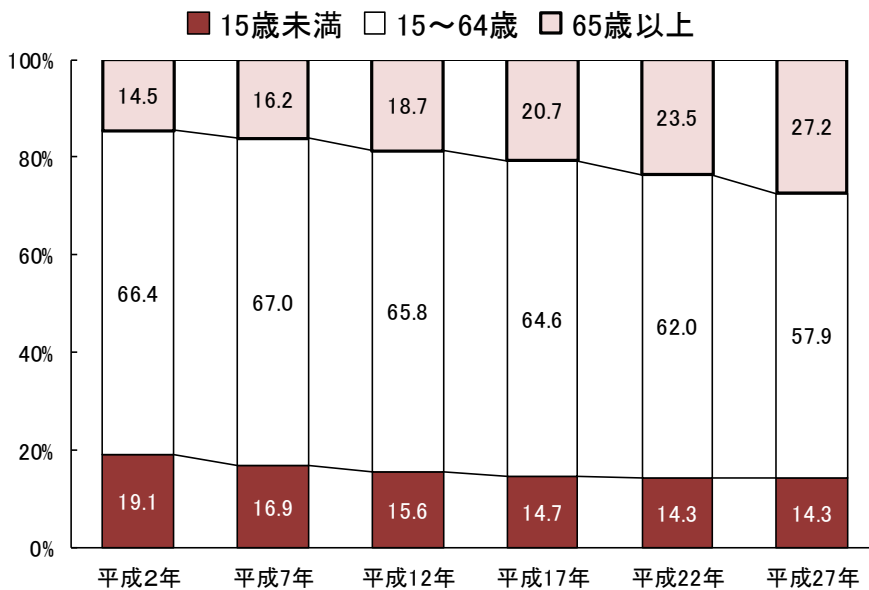
図表 2 年齢3区分人口の推移



各年 10月1日現在

資料：国勢調査

図表 3 年齢3区分割合の推移



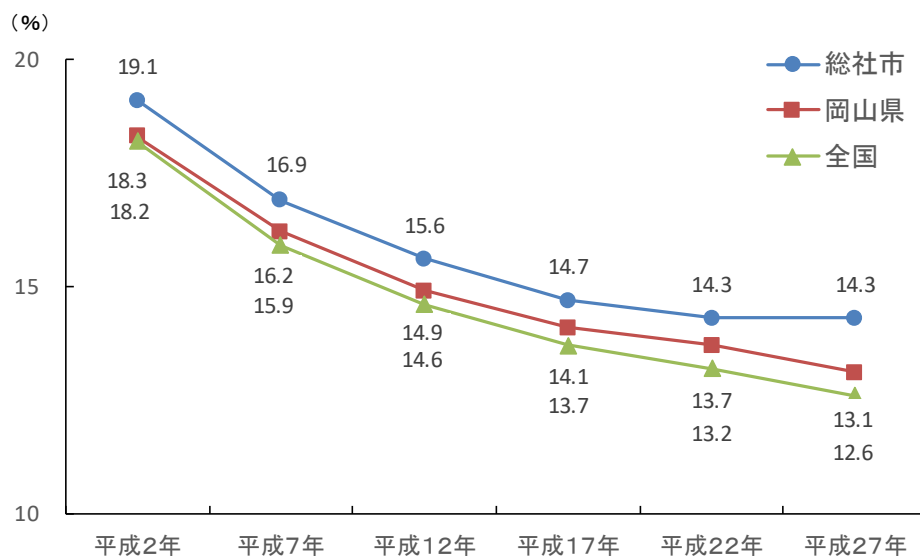
各年 10月1日現在

資料：国勢調査

(3) 15歳未満の人口の割合の推移

15歳未満の人口の割合の推移をみると、総社市は全国や岡山県の割合に比べ高い割合で推移しています。全国及び岡山県の割合はなだらかに低下し続けていますが、総社市は平成22年から横ばいとなっています。

図表 4 15歳未満人口の割合の推移



各年 10月1日現在

資料：国勢調査

(4) 世帯数の推移

一般世帯数の推移をみると、一貫して増加傾向にあります。家族類型別の一般世帯数の推移をみると、核家族世帯と単独世帯が増加しています。親族世帯に占める核家族世帯の割合が一貫して上昇しており、核家族化が進んでいることがわかります。

母子・父子世帯数をみると、母子世帯数が増加しており平成17年と比較すると、平成27年は約1.5倍となっています。

図表 5 家族類型別一般世帯数の推移

区分		平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
一般世帯		17,583	20,294	21,626	22,708	23,408	24,818
親族世帯	核家族世帯	9,912 (56.4%)	11,217 (55.3%)	12,194 (56.4%)	13,012 (57.3%)	13,591 (58.1%)	14,642 (59.0%)
	その他の親族世帯	5,162 (29.4%)	5,071 (25.0%)	4,791 (22.2%)	4,441 (19.6%)	4,051 (17.3%)	3,375 (13.6%)
非親族世帯		8 (0.0%)	28 (0.1%)	8 (0.0%)	82 (0.4%)	108 (0.5%)	184 (0.7%)
単独世帯		2,501 (14.2%)	3,978 (19.6%)	4,633 (21.4%)	5,173 (22.8%)	5,658 (24.2%)	6,617 (26.7%)

各年 10月1日現在

資料：国勢調査

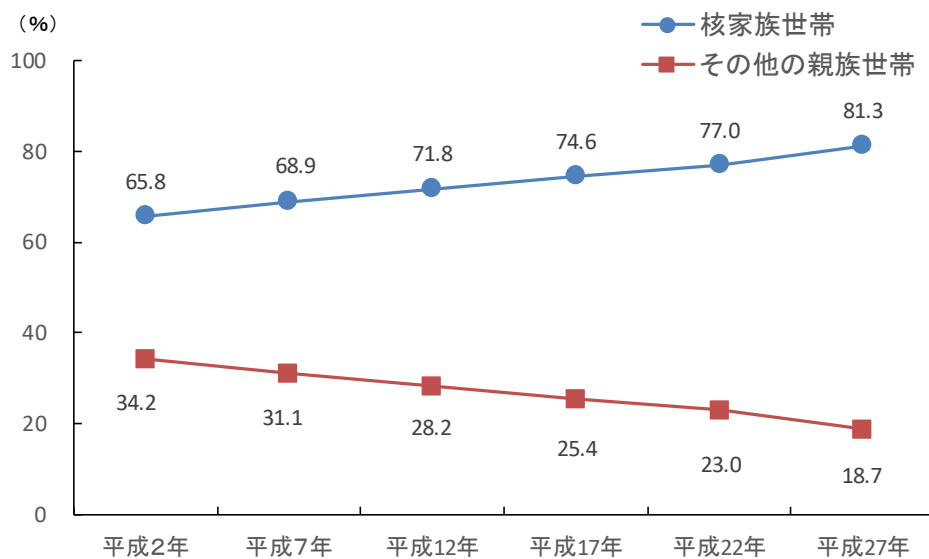
注：()内は、一般世帯数に占める割合

核家族世帯…夫婦のみの世帯，夫婦と子供から成る世帯，男親と子供から成る世帯，女親と子供から成る世帯

非親族世帯…二人以上の世帯員から成る世帯のうち，世帯主と親族関係にない人がいる世帯

単独世帯…世帯人員が一人の世帯

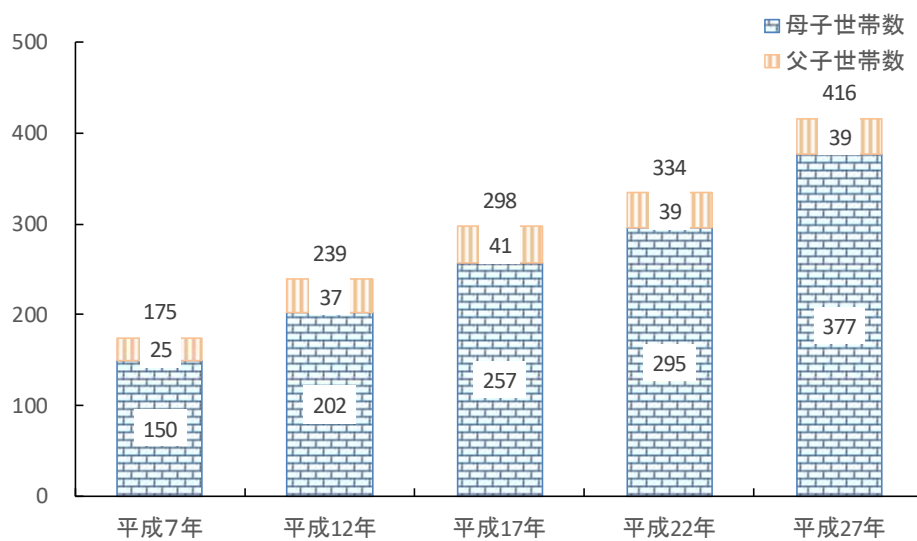
図表 6 親族世帯に占める核家族世帯・その他の親族世帯割合の推移



各年 10月1日現在

資料：国勢調査

図表 7 母子・父子世帯数の推移



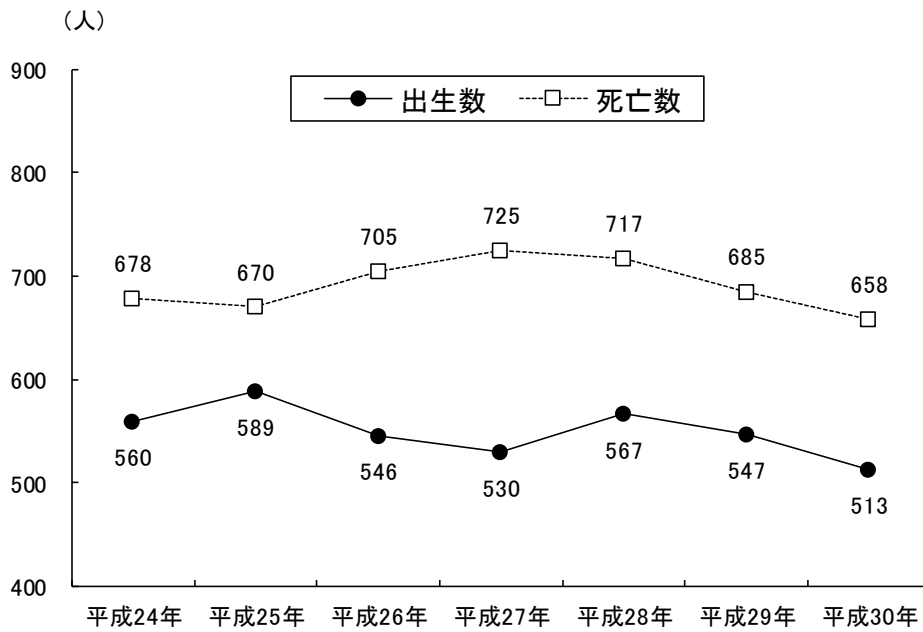
各年 10月1日現在

資料：国勢調査

2. 自然動態の推移

出生数の推移をみると、平成25年から平成27年までは減少していましたが、平成28年は増加し、平成29年から再度減少しています。一方、死亡数については平成25年から平成27年まで増加していましたが、平成28年以降は減少しています。本市では一貫して死亡数が出生数を上回っており、自然減となっています。

図表 8 出生数と死亡数の推移



各年 12 月 31 日現在

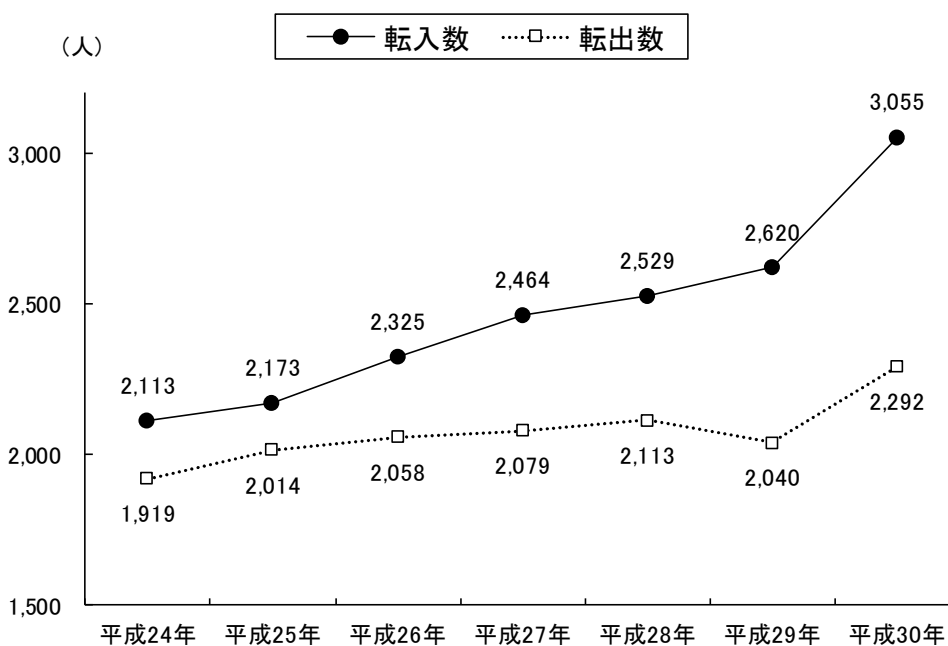
資料：総務省「住民基本台帳に基づく人口動態及び世帯数」

3. 社会動態の推移

平成24年以降転入数は増加の一途をたどっています。転出数も平成29年を除き増加傾向にあります。平成30年の転入数の大幅な増加は、隣接する倉敷市真備町を襲った西日本豪雨による影響のものと思われます。

平成24年以降一貫して転入数が転出数を上回っており社会増となっています。

図表9 転入数と転出数の推移



各年12月31日現在

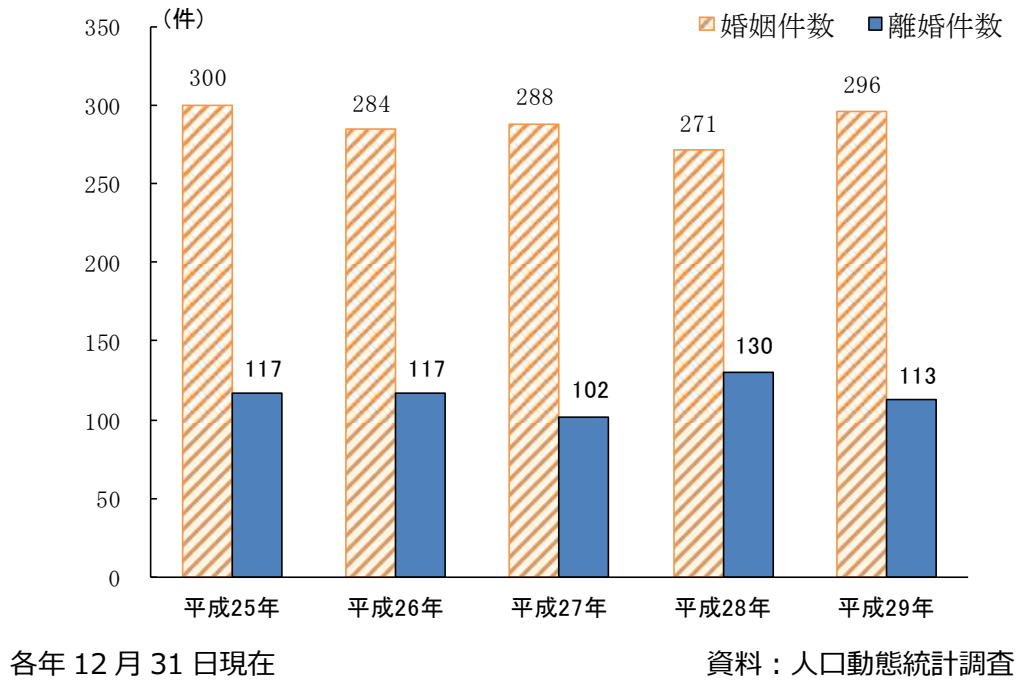
資料：総務省「住民基本台帳に基づく人口動態及び世帯数」

4. 婚姻の動向

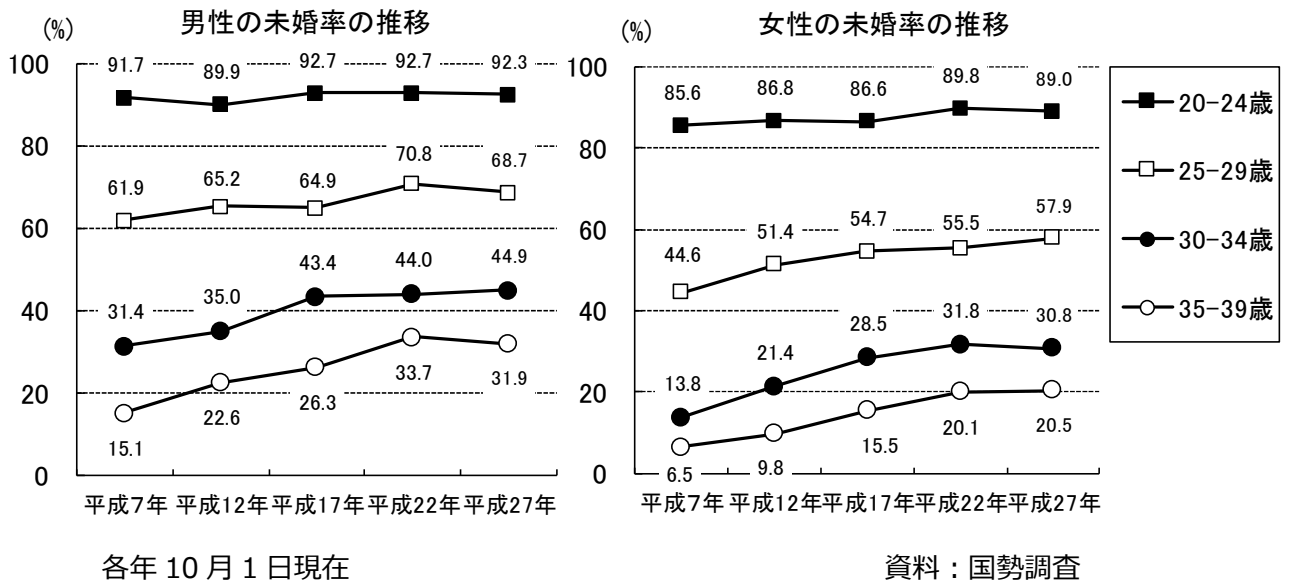
婚姻件数の推移を見ると、平成25年から概ね減少していましたが、平成29年は増加しています。離婚件数は横ばいとなっています。

20～39歳の男女の未婚率の推移を5歳階層別に見ると、30歳から34歳の男性の階層、25歳から29歳と35歳から39歳の女性の階層で未婚率が上昇していることが分かります。35歳から39歳の男性、30歳から34歳の女性についても、平成7年と平成27年を比較すると大きく上昇しており、本市においても、晩婚化が進んでいることがうかがえます。

図表 10 婚姻・離婚件数



図表 11 未婚率の推移



5. 出生の動向

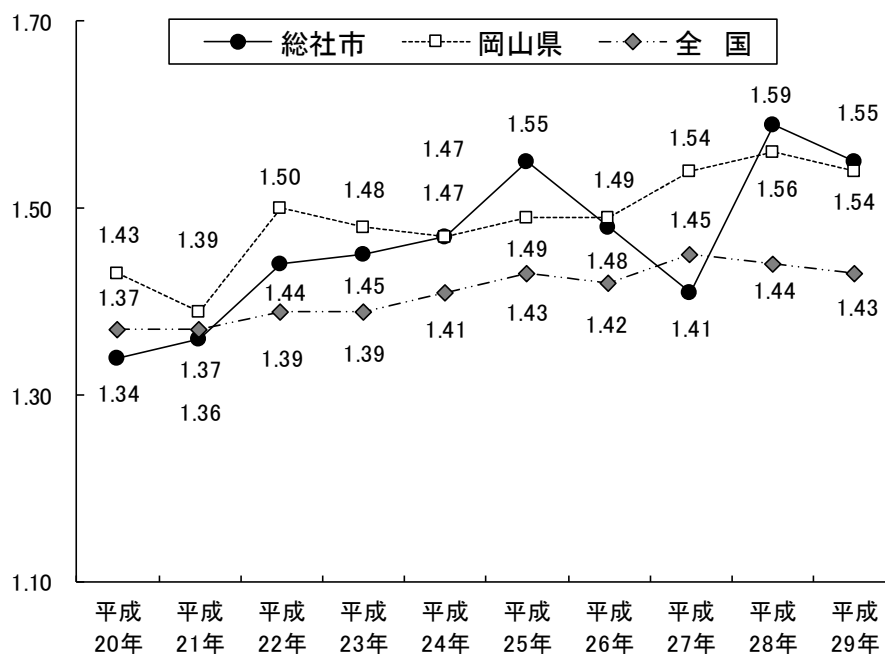
出生数の推移を見ると、平成 25 年まで上昇局面にありましたが、それ以降は上下を繰り返しています。

合計特殊出生率は、概ね全国よりも高い数値で推移していますが、平成 29 年は 1.55 であり、人口規模が維持される水準である 2.07 を下回っています。

図表 12 出生数の推移

	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年
出生数(件)	560	589	546	530	567	547	513

図表 13 合計特殊出生率の推移



6. 0歳から11歳までの人口推計

住民基本台帳の人口をもとに、コーホート変化率法を用いて、総社市の0歳から11歳までの人口推計を行ったところ、11歳以下の人口は年々減少し続けるという推計結果になりました。15歳から49歳の女性の人口減少が大きな要因と考えられます。

図表 14 0歳から11歳までの人口の推計

区分	実績	推計				
	平成31年 (4月1日現在)	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
0歳	522	549	547	544	542	540
1歳	576	548	577	575	573	571
2歳	620	606	576	607	605	603
3歳	587	637	622	591	623	621
4歳	667	603	654	639	608	640
5歳	649	673	609	660	645	614
6歳	631	656	681	616	667	652
7歳	707	639	664	689	624	676
8歳	682	709	641	666	691	626
9歳	673	683	710	642	667	692
10歳	667	677	687	714	646	671
11歳	694	667	677	687	714	646
合計	7,675	7,647	7,645	7,630	7,605	7,552

注) 平成30年は西日本豪雨の影響により、社会動態の変化が大きかったことから、コーホート変化率は平成27年→平成28年、平成28年→29年の平均を使用しています。

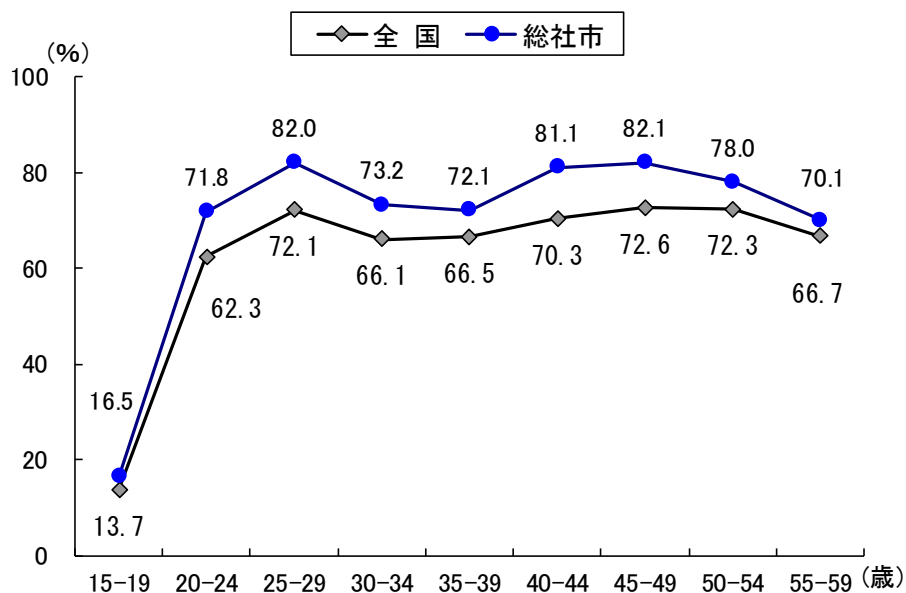
7. 女性の就労状況

平成27年の総社市と全国の女性の年齢別労働力率を比べると、全ての年齢階層で総社市の方が高い割合となっています。総社市の年齢別労働力率を年齢階層別に見ると、25歳から29歳では82.0%であるのに対し、30歳から34歳では73.2%、35歳から39歳では72.1%と低下し、40歳から44歳では81.1%と上昇するM字カーブを描いています。

M字カーブは、結婚・出産期に当たる年代に一旦低下し、育児が落ち着いた時期に再び上昇するという、日本女性の働き方の特徴を表しています。

平成12年から平成27年までの25歳から29歳、30歳から34歳、35歳から39歳の女性の労働力率の推移をみると、一貫して上昇しており、女性が働きやすい環境が整いつつあることがうかがえます。

図表 15 全国・総社市の女性の年齢別労働力率



平成 27 年 10 月 1 日現在

資料：国勢調査

図表 16 女性の年齢別労働力率の推移

区分	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
15-19歳	17.6	16.1	15.8	15.4	16.4	16.5
20-24歳	73.8	68.5	63.3	67.2	69.6	71.8
25-29歳	54.6	62.7	65.1	73.0	75.9	82.0
30-34歳	52.1	50.9	57.9	64.9	67.2	73.2
35-39歳	64.3	63.2	62.3	68.1	70.8	72.1
40-44歳	73.9	72.7	73.1	74.3	75.7	81.1
45-49歳	75.4	71.7	74.9	78.1	77.4	82.1
50-54歳	67.1	66.9	67.6	72.5	74.7	78.0
55-59歳	52.8	54.9	57.1	59.3	62.3	70.1

各年 10 月 1 日現在

資料：国勢調査